

# はじめに

## 平成 28 年度 尼崎市青年使節団

団長 豊島 源史

アウクスブルク市と尼崎市は、昭和 34 (1959) 年 4 月にドイツと日本の都市として初の姉妹都市関係を結び、以来これまで 57 年間にわたりその関係を絶え間なく続けています。アウクスブルク市訪問尼崎市青年使節団は、昭和 47 (1972) 年から始まり、概ね 1 年毎に両市の使節団が行き来しています。友好関係をさらに進めるため、今回第 18 代目の使節団として 10 名がアウクスブルク市及びその周辺を訪ねる機会を頂戴しました。

使節団は、日中さまざまな内容に富んだ施設等の視察スケジュールに沿って行動しましたが、その視察が終わった夕方から翌朝まで、団員はアウクスブルク市の一般のお宅にホームステイし、アウクスブルクの暮らしを体感させて頂きました。

ミュンヘン空港に着陸前、機上から見るまるでパッチワークのようなドイツの田園風景から始まり、街角ではいたるところに噴水や銅像がある歴史を感じさせる街並みも、どこかのテレビや絵葉書などで見たような風景が目の前に広がり、ドイツにいることが現実のことと認識することに時間がかかりました。実際に見たことふれたものは全て新鮮で、そこで暮らす皆さんと、1 週間という限られた時間ではありましたが、ともに過ごし、会話というには拙すぎる独語・英語ではありましたが、それでも親交を深めることができたことは大変有意義で、かけがえのない時間でした。

今回の使節団の活動の中で、アウクスブルク市の皆さんが常に我々を温かいもてなしの心で接して頂いていたことを団員全員忘れられないと思います。この思いが、これからの両市の友好の種になるものと信じています。団員各自が両市の友好関係をさらに進めるために自分に何ができるかを考え行動することで、両市の友好の花が咲き誇り続けることを願わずにはられません。

最後に、心から歓迎して頂いたアウクスブルク市 Dr. グリーブル市長を始め市職員のザボロヴスキーさん、Dr. シュタムさん、ゼムリンガーさん、シャラーさん、独日協会のコナート事務局長、ボックホルトさん、アウクスブルクインターナショナルのフィンク代表、通訳頂いた原さん、リカさん、藤崎さん、その他お会いできました全ての皆さん、そしてホストファミリーの方々に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。Danke Schön!